

大津町国際交流協会



大津町国際交流協会
おおつか まりこ
大塚 麻里子会長

町と一緒にヘイスティングズ市民訪問団の受け入れを行う大津町国際交流協会。同会の大家麻里子会長に今回の訪問団受け入れや今後の国際交流への思いを聞きました。

当協会は、主にヘイスティングズ市などの海外姉妹都市との交流事業や在住外国人との交流・支援(外国料理交流会など)を行っています。当協会は平成6年に立ち上げた民間団体で、協会に所属する人それぞれが仕事をしながら活動しています。そのため、私たちができる範囲で町の国際交流を盛り上げていきたいと思っています。

今回のヘイスティングズ市民訪問団の受け入れでは、歓迎会やスポーツ交流会を開催したり、ホストファミリーの調整をしたりと町と協力しながら訪問団を受け入れました。

コロナ禍は当協会の活動も中止になることも多かったのですが、5年ぶりにヘイスティングズ市との交流ができたことは本当にうれしかったです。顔と顔を合わせて交流ができることの幸せを痛感しました。

今後は姉妹都市との交流だけでなく、町に住む外国人が困っているときに心の支えになる存在でいたいですね。災害時や日常生活のちょっとしたことですぐに相談できる関係性だと外国人も日本人も協力しながら、住みやすい大津町になると思います。



本田技研工場でのバイクの見学



大津町国際交流協会による訪問団歓迎会



町内で書道を教える太田雅子さんによる書道体験



大津太鼓の高見大志さんによる太鼓の体験

【ヘイスティングズ市民訪問団来町】

海を越えて つながる友情

5月21日～31日の11日間、町にアメリカ合衆国ネブラスカ州ヘイスティングズ市から10人の高校生と2人の引率の先生がやってきました。

町とヘイスティングズ市は1995年に姉妹都市を結んでおり、町にヘイスティングズ市から訪問団が訪れたり、町からヘイスティングズ市に中高生を派遣したりと交流が続けてきました。

コロナ禍の影響でお互いに訪問ができていませんでしたが、今回は5年ぶりに訪問団を受け入れ、顔を合わせた交流ができました。

訪問団は滞在中、翔陽高校や大津高校の生徒と一緒に各学校の授業や部活動を体験し、町内で書道を教える太田雅子さんによる書道体験や本田技研工場見学、大津太鼓の高見大志さんによる太鼓の演奏体験などを行いました。また、日本や熊本の文化を体験するため、熊本市を中心に熊本城や伝統工芸館、水前寺公園などを訪れ、阿蘇方面ではそば打ち体験や阿蘇神社を参拝。長崎県では平和祈念公園や原爆資料館を訪れ、戦争について学びを深めました。

12人の訪問団は、大津町国際交流協会など町内の9家庭でホームステイをしました。訪問団に喜んでもらえるようにと大津町国際交流協会は歓迎会などを開催したり、ホストファミリーは朝夕ごはんを工夫し、自由行動日にゲストがやってみたいことを体験させたりしました。

大津町での思い出が、訪問団にも町民にも心に深く刻まれました。

活動報告会で思い出を振り返る

大津町国際交流協会がヘイスティングズ市民訪問団受入交流プログラムの報告会を7月8日、役場で行いました。報告会では、滞在中の活動をスライドショーで紹介し、通訳で随行した町国際交流員のオースティン・ハインラインによる報告が行われました。オースティンは、随員としての役割や、訪問団からの感想・アンケートの集計結果を報告。報告会の後半では、ホストファミリー同士でホームステイ期間中の体験談などを共有しました。「息子が有名なキャラクターやゲームを通じてゲストと仲良くなるスピードがはやかった」「孫がゲストと仲良くなったのをきっかけに英語に興味を持つようになった」など、それぞれの家族がゲストを家族の一員として受け入れました。



オースティンの振り返り

学生間だけでなく、大津町とヘイスティングズ市が強く結びつき、素晴らしい経験をすることができました。多くの学生が生涯の友人を作りながら日本文化を理解することができ、町の人々にとっても特別な経験になったと思います。



大津高校の生徒とお好み焼き作り



翔陽高校園芸造園部の生徒と盆景作り



大津高校の生徒と日本のじゃんげんを知る



翔陽高校茶道部でお茶とお菓子を試食